

研究の概要

2020年10月23日

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名：	卵巣のチョコレート嚢胞が生殖補助医療の成績に与える影響についての研究
代表研究者：	医局：辻 勲、重田 護
研究の目的：	卵巣のチョコレート嚢胞が体外受精の成績に与える影響を評価することを目的とします。
調査データ該当期間：	当院の倫理委員会承認後～2024年3月31日
研究の方法 (使用する試料/情報等)：	対象は卵巣にチョコレート嚢胞がある患者様になります。採卵の際に卵子とともに回収する卵胞液・卵丘細胞は、不妊治療に用いないため、本来はすぐに廃棄します。この廃棄予定の検体(卵胞液・卵丘細胞)を研究に使用させていただきます。検体中の酸化ストレス、サイトカイン、遺伝子発現・変異の有無等を評価します。また、超音波やMRI等の画像、血液の残余検体、病歴や臨床成績(臨床的妊娠率、採卵卵子数、成熟率、受精率、良好胚率等)等の情報を使用して、治療効果のデータ解析を行います。これらは過去に得られた試料や情報を使用することもあります。
個人情報の取り扱い：	研究に用いる患者様の個人情報の保護、プライバシーの尊重に努力をし、最大限の注意を払います。患者様の試料を分析する際には、連結可能匿名化を行います。また試料の分析から得られる情報についても、厳重な管理とセキュリティ体制の整備を徹底し、連結可能匿名化を行い、符号のみで取扱いますので、個人情報は伝わりません。
本研究の資金源 (利益相反)：	本研究において利益相反はありません。
お問い合わせ先 ：代表電話 ：担当者(部門・氏名)	医療法人三慧会IVF大阪クリニック 06-4308-8824 医局 重田 護
備考：	医療法人三慧会IVF大阪クリニックで卵胞液、卵丘細胞、血液、病歴や臨床成績等の情報を回収します。これらの情報は共同研究機関である大阪市立大学大学院医学研究科 リプロダクティブサイエンス研究所で解析を行います。
この研究を共同で行っている 共同研究機関	大阪市立大学大学院医学研究科 リプロダクティブサイエンス研究所 研究責任者：橋本 周、重田 護